

俳句とは詩の一つである

作る時に守らなければならぬこと

(一) 五・七・五の十七文字であらわす。

(れい) こいのぼり 空をぶたいに おどり出す

(二) 季節のことば(季語)を入れなければならない

あたたかい あつい さわやか 寒い

春風 かみなり 秋風 雪

春 春の山 夏 夏の海 秋 秋の山 冬 冬の山

ひな祭り こいのぼり 秋まつり クリスマス

ちようちよ せみ とんぼ 冬の鳥

桜 ひまわり もみじ おちば

(三) 自分の身の回りのできごとや、自分が見たり、して見て感じたこと、思ったことを書いてみる。

気をつけること

(一) 字はていねいに、わかりやすく書くこと

(二) できるだけ、漢字を使って書くこと

(三) 季語を、二つ使わないこと

(四) たくさん作ること

(五) 人のまねをしない

お友達の作った句

【春】

- ① パンジーが 顔をそろえて 見ているよ
- ② クレヨンで ぬったみたい な 春の山
- ③ こいのぼり みんなの 人気 あつめてる

【夏】

- ① つばめの子 ラツパみたい な 口を開け
- ② 白い雲 青いプールで泳いでる
- ③ 母の日は わたしがぜんぶ してあげる
- ④ あめんぼが プールの上を ひとりじめ
- ⑤ かたつむり ちよつとお家が 重そうね

【秋】

- ① ばんこつき 空までつづいて うんどう会
- ② あきまつり たいこの音に 風もふく
- ③ 空高く ぼくがとばした ホームラン

【冬】

- ① ポケットの チャボのたまごが あたたかい
- ② いもうとが ハートの おもち つくったよ

夏の季語で俳句を作ってみましょう

あじさい ゆり びわ トマト あさがお

つゆの空 かみなり にじ 夕立 プール 夏まつり

かたつむり 雨がえる かに つばめ かぶと虫